Proof Checker Pro ver.3 新機能ガイド

● ver.3 起動に必要な項目

ver.2 同様、Proof Checker Pro を起動するには、下記の項目を同じ階層に入れてください。 ※アプリケーションファイル以外のファイル名は、ver.2 と同じですが、ファイルが異なります。 必ず、ver.3 用のファイルをフォルダに入れて、アプリケーションを起動してください。

Windows XP/Vista/7版
 「Proof Checker Pro」アプリケーションファイル
 「j2b.dll」ファイル
 「start.dll」ファイル

Macintosh OSX 版
 「Proof Checker Pro」アプリケーションファイル
 「j2b.bundle」ファイル
 「start.bundle」ファイル



1. マルチランゲージへの対応

ver.3 より「環境設定」→「照合」タブに「文字形で照合」が追加されました。 「文字形で照合」では、埋め込まれた文字の形状で照合が行われます。 そのため、言語に関わらず PDF に文字が埋め込まれていれば照合を行う事が可能です。

環境設定		
照合 表示 印刷		
移動		
移動距離許容誤差 0.10 mm	違う箇所を指摘 面積比 30.0 %まで	
ページをまたいだ移動 前 1 後 1 ページ	拡大縮小率 許容誤差 1.0 %	
□ 前面・背面のチェックをする	回転 許容誤差 1.0 度	
	色の各成分の濃度 許容誤差 2.0 %	
図形形状許容誤差 0.03 mm	線・塗り	
	線の太さ 許容誤差 0.10 mm	
✓ テキスト ✓ 画像 ✓ パス	線の色 許容誤差 5.0 %	
	角の比率 許容誤差 1.0	
	塗りの色 許容誤差 5.0 %	
文字サイズ 許容誤差 0.10 Pt	透明度 許容誤差 5.0 %	
長体・平体 許容誤差 5.0 %	RGBの黒とCMYKの黒を同一視	
トラッキング 許容誤差 40 em	ヘアライン 太さ 0.001 mm以下	
カーニング 許容誤差 40 em	-マスクエリア	
ヘ´ースラインシフト 許容誤差 25 em	(マスクエリアを適用しない) 🛟	
設定の名称 デフォルト 😯 設定	(キャンセル) OK	

※テスト済み言語は以下の通りです。

日本語、英語、イタリア語、オランダ語、ギリシャ語、スペイン語、タイ語、ドイツ語、トルコ語、フランス 語、ベトナム語、ポルトガル語、マレー語、ロシア語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体) ※昭会するPDFファイルに文字が埋め込まれていたい場合は「文字コードで昭会」に設定し、昭会を行ってくだ

※照合するPDFファイルに文字が埋め込まれていない場合は、「文字コードで照合」に設定し、照合を行ってください。但し、照合結果で埋め込み文字でない部分は、代替えフォントで表示されます。

2. 環境設定の保存

環境設定の保存が可能となりました。

●名前を付けて環境設定を保存する方法

1「環境設定」ウィンドウ一番下にある「設定」ボタンをクリックします。表示されるウィンドウの「設 定の名称」に設定名を入れ、OK ボタンをクリックします。

※「環境設定」→「新規設定」より設定作成したときの設定値は、アプリケーションの初期値です。

環境設定				
照合 表示 印刷				
移動 				
移動距離計容誤差 0.10 mm	1 通う固所を指摘 国債氏 30.0 %まで			
ページをまたいだ移動 前 1 後 1 ペーシ	拉大縮小率 許容誤差 1.0 %			
📃 前面・背面のチェックをする	回転 許容誤差 1.0 度			
	色の各成分の濃度 許容誤差 2.0 %			
図形形状許容誤差 0.03 mm	n 線・塗り			
昭合対象	線の太さ 許容誤差 0.10 mm			
▼テキスト ▼画像 ▼パス	線の色 許容誤差 5.0 %			
	角の比率 許容誤差 1.0			
−テキスト ● 文字形で昭合 ○ 文字コードで昭合	塗りの色 許容誤差 5.0 %			
文字サイズ 許容誤差 0.10 Pt	透明度 許容誤差 5.0 %			
長体、平体 許容認差 5.0 %	 RGBの黒とCMYKの黒を同一視 			
トラッキング 許容誤差 40 em	ヘアライン 太さ 0.001 mm以下			
カーニング 許容誤差 40 em	マスクエリア			
ヘ´ースラインシフト 許容誤差 25 em	(マスクエリアを適用しない) 🛟			
設定の名称 デフォルト 📢 設定	(キャンセル) OK			
	環境設定			
設力	Eの名称 新規設定名称1			
●新規設定 ○名称変更 ○設定削除				
	(TTYCH)			

2「設定の名称」の設定名が変更されたのを確認後、環境設定を変更します。 3 OK ボタンで環境設定を閉じると、現在選択されている設定に上書きされます。

●保存した環境設定ファイルに切り替えて照合を行う方法

「環境設定」→「デフォルト(もしくは設定した名称)」をクリックすると、保存した設定名称が表示されます。 照合を行う設定を選択し、OK ボタンをクリックします。

※保存した環境設定ファイルは、アプリケーションフォルダ→「照合設定.prf」ファイルに含まれます。複数のPCで 同じ設定を使用する場合は、このファイルをコピーして使用して下さい。

※「照合設定.prf」ファイルはMac/Win互換可能です。

※環境設定を初期設定に戻す場合は、アプリケーションを終了した状態で。アプリケーションフォルダ→「照合設 定.prf」ファイルを削除してください。

※「照合設定.prf」ファイルはアプリケーションを起動すると作成されます。

3. マニュアル比較ツール

ver.2 までにもあったヒント表示をバージョンアップしました。

1 照合結果が表示されている状態で、ツールパレット→「選択ツール」で新ファイル側(右ペイン) から旧ファイル側(左ペイン)へ不一致指摘されている部分をドラッグ&ドロップします。



<旧ファイル側>(左ペイン)

<新ファイル側>(右ペイン)

2下図の様なウィンドウが表示されます。

ウィンドウ内ではプレビューが表示され、プレビューの拡大縮小が可能です。

 マニュアル比較 				
	旧オブジェクト	新オブジェクト		
オブジェクトの種類:テキスト				
文字列が違います				
旧:Proof Checker Pro文字列テスト用データです。				
新:Proof Checker Proテキストテスト用データです。				
	Proof Checker Pro <u>文字列</u> テスト用データです。	Proof Checker Pro <u>テキスト</u> テスト用データです。		

プレビューの左側にはドラッグ&ドロップしたオブジェクトの不一致理由が表示されます。

※ドラッグ&ドロップしたオブジェクトの濃度が薄い場合、マニュアル比較で表示されたウィンドウの左上にある ボタンより、プレビュー背景の濃度を変更する事ができます。



4. セレクト比較ツール

照合結果のオブジェクトの一覧表とプレビューを表示します。 「マニュアル比較ツール」は「手動での不一致ヒント」表示するのに対し、 「セレクト比較ツール」は「Proof Checker PRO が判定した詳細」を表示します。

照合結果が表示されている状態で、ツールパレット→「セレクト比較ツール」で、新ファイル側(右ペイン) もしくは旧ファイル側(左ペイン)の調べたい範囲をドラッグして範囲を指定します。



※「セレクト比較ツール」は新ファイル側(右ペイン)・旧ファイル側(左ペイン)どちらでも使用可能です。

※「セレクト比較ツール」で範囲指定する場合は調べたいオブジェクトすべてが覆われるようにドラッグ選択して ください。

※「セレクト比較ツール」は新ファイル側(右ペイン)・旧ファイル側(左ペイン)の不一致マークをクリックしても詳 細ウィンドウが表示されます。

●文字の範囲指定方法

「セレクト比較ツール」で文字を範囲指定する場合、不一致部分だけでなく文章全体を覆うように選択 する必要が有ります。

¢-	○文字列 Proof Checker Pro <mark>文字列</mark> テスト用データです。	・○文字列 ・ Proof Checker Pro テキスト テスト用データです。
8-	〇フォント Proof Checker Pro <mark>フォントテスト用</mark> データです。	○フォント Proof Checker Pro フォントテス ト用データです。
8- 8-	○文字サイズの違い Proof Checker Pro <u>文字サイズテスト用</u> データです。	○文字サイズの違い Proof Checker Pro <u>文字サイズテスト用</u> データです。
10 100 90	○長体·平体 Proof Checker Pro 長体 · 平体 テスト用データです。	○長体 平体 Proof Checker Pro 長体・平体 テスト用データです。
	○トラッキング 	○トラッキング

※Proof Checker PROでは、PDF内の文字をつなぐ処理がされているため、部分的に選択してもウィンドウ表示 されませんのでご注意ください。 ●「セレクト比較ツール」で表示されるウィンドウについて

P4の方法でセレクト比較を使用すると下図の様なウィンドウが表示されます。



「セレクト比較ツール」で選択された範囲に含まれるオブジェクトを階層順にリスト表示します。
 リスト表示左側「+」のついた部分は、完全一致のオブジェクトが相手ファイルにあることを示します。
 リスト表示左側「-」のついた部分は、部分一致のオブジェクトが相手ファイルにあることを示します。
 リスト表示左側になにも表示がなかった場合は、一致するオブジェクトがないことを示します。

ウィンドウ内のリスト表示の部分をクリックすると、プレビューが表示され、照合結果ウィンドウ内の該当オブ ジェクトが黒枠で選択されます。

「セレクト比較ツール」詳細ウィンドウの見方 例えば、下図の様な PDF ファイルを比較した場合





<新ファイル>

新ファイル側の3つのオブジェクトを「セレクト比較ツール」で選択した場合の詳細ウィンドウは下図のよう に表示されます。

●赤のオブジェクトは、旧ファイル側に同じオブジェクトがないと判定されたため、旧オブジェクトのプレビューには何も表示されません。また、リスト表示の表記左には何も表示されません。



●青のオブジェクトは、旧ファイル側に照合対象があると判定されたため、新オブジェクトの照合相手として 旧オブジェクトにプレビューが表示されます。またリスト表示の左には「+」が表示されます。



●緑のオブジェクトは、旧ファイル側に照合対象があると判定されたため、新オブジェクトの照合相手として 旧オブジェクトにプレビューが表示されます。またリスト表示の左には「-」が表示されます。



-6-

5. プロパティー表示

照合を行った PDF のプロパティを Proof Checker PRO 上で確認可能となりました。

1 照合結果が表示されている状態で「ファイル」→「文書のプロパティ」を選択します。

ファイル ページ 画面 表示 ヘルプ	文書のプロパティ
ファイル照合 36J 開く 36O 保存 36S 別名で保存 閉じる 36W 環境設定 36K	旧ファイル 作成日時: 2010/08/16 18:22:16 更新日時: 2010/08/16 18:22:16 アプリケーション: Adobe Illustrator CS3 PDE変換: Adobe PDE library 8:00
文書のブロバティ マスクエリア保存 用紙設定 プリント 第P	PDF変更: Addde FDF library 0.00 PDFのパージョン: 1.5 新ファイル 作成日時: 2010/08/16 18:23:20
	更新日時:2010/08/16 18:23:20アプリケーション:Adobe Illustrator CS3PDF変換:Adobe PDF library 8.00PDFのパージョン:1.5
	ОК

6. 等倍出力の対応

「環境設定」→「印刷」タブ→「自動縮小」のチェックを外すと、等倍で出力されます。

	環境設定		
	照合 表示 印刷		
	印刷・保存		
	▼不一致のページのみ印刷		
	▼ファイル名を印刷		
	 ●手動 ○自動印刷 ○自動印刷・保存 ○自動保存 		
	●同一紙面に新旧印刷 ○新旧別紙印刷 ○新のみ印刷		
	(●横に並べる ○縦に並べる ○自動判定)		
(▼用紙に合わせて自動縮小		
	設定の名称 デフォルト : (設定) (キャンセル) OK		

※「同一紙面に新旧印刷」を選択し、このチェックを外した場合、照合結果の一部が用紙からはみ出す事が有ります。ご注意ください。

※初期設定は「自動縮小」のチェックが入っています。

7. Windows7 への対応

Windows7 に対応しました。

※Windows XP/Windows Vista/Windows 7は32bit版対応です。

```
※Windows XP/Windows Vista/Windows 7は、管理者の権限を持つユーザー (Administrator)で使用できま
す。マルチユーザーには対応していません。
```